

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2016年2月

### 内政

- 2日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府において、オレシュコビッチ首相と初の公式協議を実施。
- 2日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、25名の有罪人に対し恩赦を実施。
- 3日、議会は、オパチッチ議員（野党第1党社会民主党（SDP）所属、前社会政策・青年相）およびプシッチ議員（野党第2党人民党（HNS）党首、前第一副首相兼外務・欧州問題相）を野党選出議会副議長として任命。
- 3日、大統領府は、シェクス大統領特別顧問（憲法・法律担当）を解任した旨発表。
- 4日、議会正副議長団（計6名）は、賛成多数（賛成4、反対2）で、埠ブライブルグで毎年開催されるパルチザン部隊に殺害された犠牲者追悼式典への議会後援の再開を決定。（注：本件犠牲者追悼式典は、2011年迄のHDZ政権時代、議会在本式典を後援する等支持していたが、2012年にSDPを中心とする連立与党政権（当時）が、後援中止を決定していたもの。）
- 5日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領の信頼を失ったとしてロザンチッチ治安・情報庁（SOA）長官の罷免を決定（但し、SOA長官の正式な解任には、大統領および首相の合意が必要）。また、大統領は、パネニッチ国家安全保障会議事務局（UVNS）局長の解任および大統領恩赦委員会の7名の委員を解任した。
- 11日、政府は、ロブリッチ・クロアチア軍参謀総長の任期終了（本年2月29日迄）に伴い、後任にシュンドフ中將（現クロアチア軍監察総監）を指名。同氏の任命には、グラバル＝キタロビッチ大統領（兼軍最高司令官）の共同署名が必要となる。
- 17日、ブコバル・スリエメ県における地雷除去の完結を記念した式典開催。プルゴメット議員（HRID党首）が、グラバル＝キタロビッチ大統領特使として出席。
- 20日、グラバル＝キタロビッチ大統領の就任1周年。大統領府において、トゥジマン初代大統領の胸像が除幕された。
- 20日、野党「人間の壁」を離党した約140名の党員が新党「クロアチアの自由」を結党。3名からなる共同党首が選出された。
- 23日、ロブリッチ・クロアチア軍参謀総長は、グラバル＝キタロビッチ大統領よりクレシミール4世勲章、オランド仏大統領より授与されるレジオン・ドヌール勲章を当地駐仏大使から授与された。

●25日、オレシュコビッチ首相は、バルトウリツァ・カトリック大学教授(元外交官)を首相外交顧問に任命。

●26日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領国防・国内安全保障担当顧問にマヤ・チャブロビッチ・クロアチア軍大尉を任命。また、大統領特別顧問にマテ・グラニッチ元外相を任命。

## 外交

●1日、カラマルコ第一副首相(クロアチア民主同盟(HDZ)党首)は、当国訪問中のチョービッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)大統領評議会議長(HDZ・BiH党首)およびクリストBH下院議長と意見交換を実施。2日、オレシュコビッチ首相が両者との非公式会談を実施。

●2日、コバチ外務・欧州問題相は、ハンガリーを公式訪問し、シーヤールト・ハンガリー外務貿易相と会談。

●4日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、「シリアおよび地域支援会合」出席のため、ロンドンを訪問。クロアチアは、今後4年間に亘り、100万ユーロをシリア支援のために拠出する旨発表。また、本件会合に際し、アリエフ・アゼルバイジャン大統領、アブドゥラー2世・ヨルダン国王、シュナイダー＝アマン・スイス連邦大統領ら各国首脳と二国間会談を実施。

●4日、クロアチア、マケドニア、セルビアおよびスロベニアは、クロアチア、スロベニアおよびマケドニア警察当局の合同で、マケドニア・ギリシャ国境における難民の身分確認・人定検査を実施する旨合意。9日、クロアチアは15名の警察官を同国境へ派遣(および既に5名のクロアチア国境警備官は配置済み)。

●4－5日、ブリェビッチ国防相は、EU非公式国防相会合出席のため、アムステルダムを訪問。

●5－6日、コバチ外務・欧州問題相は、難民危機について協議するEU非公式外相会合出席のため、アムステルダムを訪問。同会合に際し、エリヤヴェツ・スロベニア外相およびダチッチ・セルビア外相と会談。

●8日、コバチ外務・欧州問題相は、訪独し、シュタインマイヤー独外相と会談。欧州移民・難民危機等に関し協議した。

●9日、オレシュコビッチ首相、マリッチ財務相およびブイッチ・クロアチア中央銀行総裁は、当国訪問中のデローズ(Sevaas DEROOSE)欧州委員会経済・金融総局次長と会談。

●10－11日、ブリェビッチ国防相は、NATO国防相会合出席のため、ブリュッセルを訪問。同会合に際し、ファロン英国防相、コデリ・アルバニア国防相およびヒダシェリ・ジョージア国防相とそれぞれ会談した。

●12－14日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびコバチ外務・欧州問題相は、「第52回ミューンヘン安全保障会議」に出席。同会合に際し、大統領は、「アドリア＝バルト＝黒海」イニシアチブに参加するパホル・スロベニア大統領、ドゥダ・ポーランド大統領、プレヴネリエフ・ブルガリア大統領およびイルヴェス・エストニア大統領を集めた会合を実施。また、バルザーニー・クルディスタン地域政府(KRG)大統領およびマケイン米上院議員率いる米連邦上院議員団と会談を行った。

●15－16日、コバチ外務・欧州問題相は、EU外務理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。コバチ大臣は、BHが2月15日にEUに対し提出したEU加盟申請を歓迎した。

- 17－19日、オレシュコビッチ首相は、就任後初の欧州理事会（於：ブリュッセル、18－19日）出席のため、ブリュッセルを訪問。17日夜は、トウスク欧州理事会議長呼び掛けで開催された「西バルカン移民ルート」を協議する夕食会に出席（クロアチアの他、同会合には、ニコリッチ・セルビア大統領、イバノフ・マケドニア大統領、ツェラル・スロベニア首相およびユンカー欧州委員長、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表、クーンデルス・オランダ外相が出席）。また、今次理事会に際し、18日にユンカー欧州委員長およびシュルツ欧州議会議長、またキャメロン英首相、ツェラル・スロベニア首相およびV4諸国首脳等と会談した。
- 18日、カラマルコ第一副首相（HDZ党首）は、欧州人民党グループ（EPP）会合に出席のため、ブリュッセルを訪問。同地で、オルバーン・ハンガリー首相との会談を実施。
- 19日、コバチ外務・欧州問題相は、モンテネグロを公式訪問し、ルクシッチ・モンテネグロ外相と会談。また、同国訪問中、ブヤノビッチ同大統領、ジュカノビッチ同首相およびクリヴォカピッチ同議会議長とも会談した。
- 22日、オレシュコビッチ首相は、ロンドンで開催された欧州復興開発銀行（EBRD）会合出席に際し、ハモンド英外相およびマウデ英貿易・投資担当相と会談。また、チャクラバルティEBRD総裁、ズビズディッチBH首相、ブチッチ・セルビア首相らとも会談した。
- 22日、オレピッチ内相は、スロベニアを訪問し、ジュニダル・スロベニア内相と難民問題に向けた協力につき協議。両内相は、解決策は合同かつ包括的であるべきとし、可能な限り移民・難民の移動ルート上の国々が協力すべきであることに合意した。
- 23日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびオレシュコビッチ首相は、当地訪問中の寧吉喆（Ning Jizhe）中国国家発展改革委員会副主任とそれぞれ会談。
- 23－24日、コバチ外務・欧州問題相は、伊ローマを訪問し、バチカンにおいて、トラン・ローマ法皇庁諸宗教対話評議会議長およびギャラガー同外務長官と会談（23日）。また、ジェンティローニ伊外相と会談した（24日）。
- 24－25日、オレピッチ内相は、バルカンルートにおける難民問題を協議する西バルカン内相・外相会合出席のため、クプレシヤク外務・欧州問題省次官補と共にウィーンを訪問（24日）。また翌（25）日、EU内務・司法理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。
- 25－26日、グラバル＝キタロビッチ大統領、オレシュコビッチ首相、ライネル議会議長および関係閣僚は、当国訪問中のドムブロウスキス欧州委員会副委員長（通貨・社会対話担当）と会談。
- 27日、ブリエビッチ国防相は、スプリト（当国南部）において、ペンデシュBH国防相と会談。二国間協力の発展につき協議するとともに、クロアチアはBHのNATOおよびEU加盟を支持する旨強調。
- 29日、国防省は、NATO主導の「確固たる支援」任務（RSM）に従事するため、75名のクロアチア軍第4次隊をアフガニスタンに派遣した旨発表。

## 経済

●2日、フランクフルトを拠点にするクロアチア経済協会(HGS)およびクロアチア輸出業者協会(HIZ)は、独市場向けの貿易を行うクロアチアの輸出業者への物流等に関する支援の協力合意を締結。右合意に基づき、クロアチア企業は、独のパートナー企業のインフラ設備を使用する際、同使用料が大幅に考慮されることとなった。

●4日、欧州委員会は、2016年のクロアチアの実質GDP成長率見通しを、1.4%から2.1%に上方修正した。但し、経済回復のペースは、民間および公的セクターにおける負債率が高いため横ばいとの見方を示した。

●10日、クロアチア電力取引市場(CROPEX)が開設され、電力の前日スポット(day-ahead)取引開始。本件市場取引は、EUの多地域連結(MRC)プロジェクトの一環として、CROPEXとEU電力取引市場Nord Poolが共同で開始した。

●16日、欧州委員会は、クロアチアのクルク島LNGターミナル建設およびズロビン・スロボドニツァLNGトランジット・ガスパイプラインの2案件に、計260万ユーロ以上の資金援助を行う旨署名。

●17-23日、サクル・国際通貨基金(IMF)クロアチア訪問団長率いるIMF代表団が当地来訪。マリッチ財務相、パネニッチ経済相、シキッチ労働・年金システム相、ナキッチ保健相およびブイッチ中央銀行総裁らと面会。

●22日、オレシュコビッチ首相は、ロンドンで開催されたEBRD主催の西バルカン投資サミットに出席。

## 主要経済指標

(2015/2016年月次データ、対前年同期比(除く失業率)、政府統計局発表)

| 輸出総額<br>(12月)                   | 輸入総額<br>(12月)                   | 貿易赤字<br>(12月)                 | 工業生産高<br>(1月)       | インフレ率<br>(1月)        | 失業率(登録制)<br>(1月)     |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| +11.0%<br>(878億クーナ,<br>115億ユーロ) | +7.7%<br>(1407億クーナ,<br>185億ユーロ) | +2.7%<br>(529億クーナ,<br>70億ユーロ) | +9.3%<br>(12月:0.6%) | -0.9%<br>(12月:-0.6%) | 18.5%<br>(12月:17.9%) |

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。